



日本グループホーム学会 調査報告会 札幌報告会

「今、制度変更の際して、
考えなければならないこと」

グループホーム・ケアホームの入居者数は8万人を超え、今後ますます、入所施設や病院から地域移行する人たちの居住先として増えていくと思われます。新たな総合支援法では、より柔軟にケアがおこなわれるように、ケアホームをグループホームに統合することとされています。

一般社団法人日本グループホーム学会調査研究会（障害のある人と支援者でつくる日本グループホーム学会の調査研究部門）では、厚生労働省平成24年度障害者総合福祉推進事業指定課題14「グループホーム及びケアホームにおける支援に関する実態調査について」の調査研究指定を受け、全国のグループホーム・ケアホームの実態調査に取り組みました。グループホーム・ケアホームの支援の実態を把握することによって課題を整理し、新たな施策化に向けた提言をおこなっていきたいと思っております。

今回の調査報告会では、この調査結果を皆様に報告すると共に、障害支援区分の開発状況や制度変更にあたって課題を深く掘り下げるための手掛かりとなる講演も行います。グループホーム・ケアホームが抱えている課題について考え、意見交換をする機会としたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

■□ 日 時 □■ 9月14日(土曜) 13:30～19:00

■□ プログラム □■

- 13:30 ～ 開会のあいさつ 光増昌久
(障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会代表)
- 13:45 ～ 14:45 「量的調査報告」 久保 洋 (GH学会運営委員)
- 14:45 ～ 15:45 「質的調査報告」 在原理恵 (GH学会運営委員 神奈川県立保健福祉大学)
- 休 憩
- 16:00 ～ 16:30 実態調査に関する質疑応答
- 16:30 ～ 17:15 西宮市での実践から 酒井比呂志 (GH学会副代表)
(ケアホームでの居宅介護利用の実態と制度改正に向けた課題)
- 17:15 ～ 18:15 札幌市での地域生活支援の現状と課題(実践報告)
(共同住居での居宅介護利用、札幌市のPA制度の内容と現状等)
- 18:15 ～ 19:00 質疑応答と「障害者の地域生活推進に関する検討会」の論点に関する意見交換
- 19:00 閉会

■□ 会場・場所 □■

札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1条西13丁目)

<交通機関>・地下鉄 東西線 西11丁目駅、1番出口から徒歩5分

・JRバス・中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分

【主 催】 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 【共催】 つくろうネット

【参加対象】 グループホーム関係者など (定員:120名)

【参加費】 学会員は無料、非会員は500円

【参加申込について】

下記 連絡先まで、メールか、Faxにてお申込下さい。必ず、会員か非会員かを明記してください。

申込締切日 平成25年9月13日(金) ただし定員を超えた場合にはその時点で締め切ります。

【連絡先】 F a x 0134-62-6848 E-Mail: shosen@aioros.ocn.ne.jp
松泉グループ 調査報告会 札幌会場 事務局 0134-62-2510

日本グループホーム学会と

障害があってもなくても、自分らしく生きたいと誰もが願っています。誰かに支えられて、誰もが生きています。

誰が援助する人で、誰が援助される人なのでしょう。

また、自立するってどんなことなのでしょう。

障害のある人の「グループホーム」をキーワードにして、みんなで考えていきたい。

そんな思いが集まって「日本グループホーム学会」は産声を上げました。

障害のある人の応援団を全国に広げながら、私達一人ひとりの「暮らし」を考え、研究する場にしたいと思います。

障害のある人、本人をいつも中心に見つめる目をもちながら、実践に始まり実践に帰る研究をともにしませんか？

活動目的

- 1) 質の高い援助を提供するグループホームを全国各地に確実に増やす。
- 2) グループホーム間の情報交換や支援に関する研究を進める
- 3) 現在あるグループホームを支援する仕組みをつくり、運営の不安定さを改善していく。
- 4) 国や自治体に対して、現場からの政策提言や意見を発信する。
- 5) 社会に対して、障害者の地域生活を理解してもらうための情報を発信する。

活動内容

- 1) 「季刊グループホーム」の発刊
- 2) グループホーム研究大会（年に1回）の開催
- 3) 議会や行政に対する政策提言、メディアを通しての社会的アピール
- 4) メーリングリストによる情報交換、現場スタッフ（世話人）や運営者対象の研修や相談業務

■入会案内 個人会員。一般会員登録（年会費 4,000 円）季刊雑誌 4 冊/年送付。

研究報告書が必要な方は、情報会員（年会費 6,000 円）としても登録できます。会員限定のメーリングリストで質問等、会員相互の情報交換をすることもできます。ぜひご入会ください。

ホームページから入会手続きができます。 <http://www.gb-gakkai.com/>

申し込みフォーム	氏名（ふりがな）	住所（県・市町村名）	
	所属		
	連絡先（電話番号・E-Mail）		
	（どちらかに○を）		
	会員	・	非会員

上の欄にご記入の上、FAX 0134-62-6848 または E-Mail shosen@aioros.ocn.ne.jp までお送り下さい。

メールの場合、書式は任意ですので、必要事項を記載してお送りください。